

8月4日夜の勉強会 テーマ「皮疹」

皮膚科 S先生

救急外来でよく見る4つの皮膚科疾患について学ぶ。
皮疹の特徴
注意すべき症状
治療法
皮膚科へのコンサルトするタイミング
日常診療でも使える皮膚科疾患の知識を学ぶ。

■ 診断基準

▶ 以下の3項目のうちいずれかに該当すればアナフィラキシーと診断する。

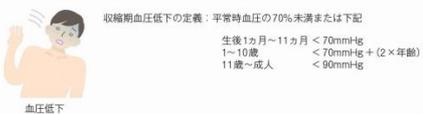
1. 皮膚症状(全身の発疹、腫痒または紅潮)、または粘膜症状(口唇・舌・口蓋垂の腫脹など)のいずれかが存在し、急速に(数分~数時間以内)発現する症状で、かつ下記a、bの少なくとも1つを伴う。



2. 一般的にアレルギーとなりうるものへの曝露の後、急速に(数分~数時間以内)発現する以下の症状のうち、2つ以上を伴う。



3. 当該患者におけるアレルギーへの曝露後の急速な(数分~数時間以内)血圧低下。



Simons FE, et al. WAO Journal 2011; 4: 13-37. Simons FE. J Allergy Clin Immunol 2010; 125: S161-81. Simons FE, et al. アレルギー—2013. 62: 1464-500 を引用改変

Take home message

蕁麻疹

帯状疱疹

虫刺症

→特徴的な皮膚所見・病歴から比較的診断しやすい疾患
それぞれの特徴を復習して、正しい治療を心掛けてね

薬疹

→皮疹はなんでもありです。疑う事、重症例を見落とさない
事が重要

困ったときは薬剤歴を添えて皮膚科へコンサルトしてね